

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和5(2023)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の概要	<p>1 事業概要</p> <p>(1)スポーツ文化の普及・振興事業</p> <p>(2)スポーツ指導者の養成・確保に関する事業</p> <p>(3)スポーツ団体の育成・指導</p> <p>(4)競技力の向上に関する事業</p> <p>(5)受託したスポーツ振興事業の実施</p> <p>(6)スポーツ施設等の管理運営</p> <p>(7)その他目的を達成するために必要な事業</p> <p>2 設立目的</p> <p>市民のスポーツ文化の普及・振興・競技スポーツの強化及びスポーツに関する指導者・組織の育成を図ることにより、川崎市のスポーツ振興の核づくりに努め、明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とします。</p> <p>3 法人のミッション</p> <p>超高齢化社会の到来や人口減少、地域コミュニティの希薄化など市民の暮らしを取り巻く環境も変化しており、スポーツへのニーズや求められる役割が多様化しています。</p> <p>スポーツを市民一人ひとりの生活に根付いた文化にするとともに、スポーツの力で市民生活の充実を図るため、川崎市との連携を強化し、両輪となって、時代の流れに対応したスポーツ施策の推進を展開します。</p>		
本市施策における法人の役割	<p>川崎市では、少子高齢化、地域コミュニティの希薄化などが進行している中、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる環境を整備し、健康増進やコミュニティの形成を図るため、生涯スポーツの推進に力を入れています。また、競技力の向上を目指し、全国・世界レベルに通用する選手や指導者の育成を図るとともに、ホームタウンスポーツ活動を振興し、スポーツを通して市民に川崎への愛着と誇り、連帯感を育むことを行っています。</p> <p>川崎市スポーツ協会においては、次の項目を法人の役割とします。</p> <p>①子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に裾野を広げ、数多くの種目のスポーツ教室を開催して、スポーツ体験機会の拡大を図る。</p> <p>②多様化するスポーツの中で市民のニーズを的確に捉え、競技人口の多少にかかわらず専門性を発揮しながら、生涯スポーツ・競技スポーツ・ホームタウンスポーツの振興を図る。</p> <p>③スポーツを市民一人ひとりの生活に根付いた文化にすることを目的とし、市民スポーツ文化の普及・振興、指導者や組織の育成、競技力向上に関する事業を実施し、41の加盟団体を統括して、市と加盟団体をつなぐ役割を果たすとともに、市のスポーツ施策の中核を担う。</p> <p>④新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受けている各種スポーツ大会やイベント等に対して、感染防止対策物品の配布や加盟団体との事前協議を行い、市民に安全・安心して参加してもらうための環境を整備する。</p>		
	法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	政策 政策4-8 スポーツ・文化芸術を振興する
	関連する市の分野別計画	施策 施策4-8-1 スポーツのまちづくりの推進	
	「川崎市スポーツ推進計画【R4～R13】」		
現状と課題	<p>(1)現状</p> <p>当協会は川崎市と共に「スポーツのまちづくりの推進」を進めることが重要と考えています。平成18年度から受託していたスポーツ施設の指定管理が平成28年度に全てなくなるといった厳しい状況になり、29年度以降、人員配置の見直しや事業の見直しなど抜本的な改革を行ってきました。令和元年度に41事業あった事業を、廃止5事業、予算を伴わない共催事業への転換5事業と整理し、31事業に縮小するとともに、業務の効率化、支出の削減、指定管理施設の受託など財源の拡充を図りました。令和2年度から、市のスポーツ施策に合致した事業について、市からの補助金が増額され、財政基盤安定化の端緒についたところですが、</p> <p>また、運営組織体制として従来は定期的な経営会議を実施していませんでしたが、令和元年度からは定期的に経営会議(役員会)を実施し、財政状況をはじめ協会のもつ課題について共通理解を図っています。</p> <p>更に、市と協会の役割分担の見直しを図り、「スポーツ協会取組方針」を作成し、その役割と方向性を確認したところです。</p> <p>(2)課題</p> <p>財政状況について、補助金の増加や新たな指定管理の確保など一定の改善がみられるものの、未だ黒字になっていない状況にあり、今後さらに経営改善の必要があります。</p> <p>また、かわさきパラムーブメントに見られるような障害者理解を促進し、共生社会の実現についての取組がまだ十分でない部分もあると考えています。</p> <p>川崎市のスポーツの中核としての役割を果たすため、川崎市や加盟団体、総合型地域スポーツクラブと連携した取り組みを進めてきましたが、連携についてまだ不十分と考えており、更なる取組が求められています。</p>		
取組の方向性	<p>(1)経営改善項目</p> <p>1. 財政基盤の安定化を第一に考えるとともに、市と同じ方向性でスポーツ振興を進めることが肝要であると考え、市との定期的なミーティングを月1回開催するとともに、取組方針の職員への徹底を図るため、事務局会議を月1回開催します。</p> <p>2. 安定的な経営を図るため経営会議(役員会)を四半期ごとに開催し、情報の共有化を図りながら、財政の改善を進めます。</p> <p>3. 事業評価を行い、41事業あったものを31事業へと整理しましたが、引き続き各事業の執行方法など検討し、効率的な運営を図ります。</p> <p>4. 令和3年度に新たに指定管理施設の管理を構成企業として3か所獲得し計4か所となりましたが、引き続き等々力緑地や富士見公園の再編整備進捗状況を踏まえ、これら2公園のスポーツ施設管理運営に関わっていきます。</p> <p>(2)連携・活用項目 スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」</p> <p>市民がスポーツを身近に感じ、もっと楽しむことができるよう、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」機会を創出し、多くの市民がスポーツに参加するきっかけを作ります。</p> <p>1. 「する」：マラソン大会をはじめとする市民が気軽に参加できる大規模大会の開催や市民大会、スポーツ教室などを開催し、体験機会の拡充を図るとともに、生涯スポーツの推進や競技力の強化を実施します。</p> <p>2. 「みる」：国内外のトップクラスの選手が競うトランポリン競技大会を開催するとともに、かわさきスポーツパートナーと連携し、試合日程・結果などを広報誌でお知らせするなどのサポートをします。</p> <p>3. 「ささえる」：指導者や競技団体の育成などスポーツ指導者の育成・強化に努めるとともに、ボランティアの育成を実施します。</p> <p>4. かわさきパラムーブメントを進展させるため、年齢や国籍、障害があるなしに関わらず、多様なニーズに応じて、誰もが生涯にわたって日常的にスポーツに親しみ、そして楽しめる機会を充実していきます。</p> <p>5. 総合型地域スポーツクラブ、区スポーツセンターなどと連携し、地域スポーツを盛り上げます。</p> <p>6. 競技団体の統括組織として、各競技団体との連携を深め、市民スポーツの振興を図っていきます。</p> <p>7. 新型コロナウイルス感染症については、当面の間、事業運営に影響を及ぼすことを十分に想定し、加盟団体や事業参加者が安全・安心にスポーツを楽しめる環境づくりに取り組みます。</p>		

本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

4カ年計画の目標

(1) 施策推進

既存の事業については、社会的な要請や参加者の需要を調査やアンケートなどで把握し、実施方法の見直しなども含め効率的な運営を図りながら、参加料、協賛金や負担金・補助金などを活用し、スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会を創出し、多くの市民がスポーツに参加するきっかけを作ります。具体的には、様々なスポーツイベントの実施、ジュニア選手やトップアスリートの支援など競技力の向上事業の実施、年齢や性別、国籍、障害のあるなしに関わらず、多様なニーズに応じて、誰もが生涯にわたって日常的にスポーツに親しみ、そして楽しめる機会を充実していきます。また、各年代に合わせた教室の実施、スポーツ指導者の育成・確保、パラスポーツの理解・普及によりスポーツを通じた共生社会の実現を進めます。さらに、指定管理施設等において、参加者ニーズを把握し、市民満足度の高い事業を実施いたします。

(2) 経営健全化

市と同輪で進めるスポーツ施策推進に合致した事業については市補助金だけでなく、市財政支出以外の自主財源など安定した収入の確保に努め、効率的な運営による支出の削減を進め、経常収支比率を向上させ安定的な黒字経営による正味財産の確保を目指します。また、経営会議を定期的の実施し経営幹部が常に情報の共有化と同じ方向性で経営が進むようにします。

(3) 業務・組織計画

職員の意識や専門性を向上させるため、スポーツ、救命救急、安全確保、組織運営などに関する研修への参加と必要な資格取得を進め、組織の活性化を図ります。

1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和5 2023年度)	実績値 (令和5 2023年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の方向性 (※4)
①	スポーツ振興事業	市民大会等参加者数	16,930	27,000	31,706	人	a	A	I
		スポーツ教室参加者満足度	96	85	91	%	a		
		パラスポーツ体験教室の参加者数	954	960	1,381	人	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	30,162 (84,181)	36,902 (101,345)	48,380 (113,715)	千円	4)	
②	競技選手強化・指導者育成事業	トップアスリート育成・強化支援関連事業の参加者数	402	570	654	人	a	A	I
		指導者育成事業の参加者数(育成数)	508	415	555	人	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	1,811 (1,917)	3,117 (3,279)	3,143 (3,329)	千円	2)	
③	施設管理運営事業	施設事業参加者数	32,500	38,100	36,921	人	b	B	I
		施設事業参加者満足度	95	92	94	%	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	42,903 (57,537)	30,291 (44,850)	29,698 (46,838)	千円	1)	

2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和5 2023年度)	実績値 (令和5 2023年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の方向性
①	収益性の確保	正味財産の推移	162,920	166,273	157,920	千円	c	C	II
		経常収支比率の推移	97.8	100	98.4	%	b		
②	自立性の向上	市財政支出額を除く主要な経常収益	57,406	66,426	70,077	千円	a	A	I

3. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和5 2023年度)	実績値 (令和5 2023年度)	単位	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の方向 性
①	適正な業務運営・法人組織体制の構築	定期的な運営会議等の開催数	24	24	24	回	a	A	I
②	人材育成等の研修計画	年間研修参加者数	25	17	23	人	a	A	I
		資格取得件数	12	5	14	件	a		

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】



法人及び本市による総括

【令和4(2022)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

施策推進に関する取組について、各事業の参加者が増え各指標の目標値を、ほぼ達成することができました。かわさき多摩川マラソンは市制100周年のプレ大会として、新たにPR動画の作成や、インフルエンサーの活用などの広報活動を積極的に行い、大会の認知度の向上につなげるとともに、誰でも参加できる大会として未就学児や車イスの部門を創設するなど、新たな層の獲得により、参加者数が増加しました。令和6年度は市制100周年を踏まえ記念大会に位置づけ、ベアマラソン部門の創設など更なる参加者の増加を図ります。競技選手強化、指導者育成事業については、順調に参加者数が増加しており、各競技団体への実施の働きかけなど引き続き継続して取り組んでまいります。経営健全化については、財政基盤の安定化を第一に考えるとともに、市と同じ方向性でスポーツ振興を進めることが肝要であると考え、収支の改善が急務であることから、経費や人件費の抑制を図り、好評な事業の拡大や料金設定の見直しを検討いたします。引き続き市と定例会を継続し、スポーツ施策の情報を共有しながら、子どもからお年寄りまで障害のあるなしに関わらず市民がスポーツを楽しめるようスポーツ振興に取り組めます。

【令和5(2023)年度取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

本市施策推進に向けた事業取組において、スポーツ教室参加者満足度については、教室参加者にアンケートを実施しつつ、ニーズに即した教室を開催し、パラスポーツ体験教室については参加者増に向け新規の体験会を開催し、多くの指標で目標値を達成することができました。また、かわさき多摩川マラソンについても、誰もが楽しめるインクルーシブな大会とするために、車いすランや未就学児部門を創設するなどし、参加者数を前回大会から伸ばすことができたため、市のスポーツ推進に貢献しました。

経営健全化の取り組みについては、業務分担の見直しを行い、時間外勤務の縮減に取り組むことが必要と考えます。また、令和5年度から一部の事業が縮小・廃止になっていることから、適正な人員配置について検証し、人件費の削減を実施することが急務であると考えます。

業務組織に関する取組については、全ての項目で目標を達成していますが、毎月一回の市民スポーツ室との定例会を継続実施し、事業の進捗状況の共有や課題解決に向けた方策の検討など情報共有を徹底するとともに、組織内部の改革や人材育成、法令遵守、コスト意識を持った業務改善に着実に取り組む必要があるため、引き続き外部の研修に参加など、必要な知識や資格の習得に努めていくことを期待します。

今後については、パリオリンピック・パラリンピックを契機に、スポーツへの興味・関心が高まることが想定されるため、より法人と市が緊密に連携をとり、多様化する市民からのニーズを的確に捉えた事業を実施するなど、スポーツ普及・振興活動の推進に取り組むことが重要であると考えます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

1. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和5(2023)年度)

事業名	スポーツ振興事業
計画(Plan)	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度現在の市民大会数は54大会となっています。 ・多種多様な事業を実施する上で、市民のニーズにあったスポーツ教室の開催や参加者の増加ができるようアンケート調査を行いながら事業内容の工夫を行っています。 ・市内の小中学校の児童・生徒を対象に、パラスポーツの体験教室を実施しています。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・各加盟団体に市民大会の意義の周知や、各競技の魅力伝えていくことでスポーツを実施し大会に参加する市民を増やします。 ・スポーツ協会が各加盟団体や市と連携して実施する教室について、市民のニーズを把握するためにアンケート調査を行い、次期開催時の教室に反映します。 ・体験教室の参加者を増やし、パラスポーツの普及・啓発を図ります。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟団体の代表者並びに事務担当者に対し、加盟団体連絡会議や通知文等にて市民大会の意義を周知するとともに、多くの市民が広く参加できる大会運営を働きかけます。 ・スポーツ教室参加者満足度について、高評価が得られていることから、引き続きアンケートを通じて参加者ニーズを的確に把握し、満足度の高い教室を開催します。 ・パラスポーツはスポーツ協会の強みを生かせることから、市民、児童・生徒に理解を深める体験会を実施し、普及・啓発に努めます。 ・各加盟団体を対象にした研修会を実施いたします。

実施結果(Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <p>市民スポーツの推進には市民大会を多くの市民に開かれた大会として開催することが重要であるため、加盟団体に対して研修会等を通して市民大会の意義を説明するとともに、開催にあたっては協会や加盟団体のHP等を活用し市民大会の内容の周知や参加者の募集などを行い、広く市民が参加することができる大会となりました。</p> <p>《令和5年度開催状況》</p> <p>春季市民大会13種目 市制記念大会27種目 秋季市民大会:20種目</p> <p>【指標2関連】</p> <p>スポーツ協会が各加盟団体等と連携して実施する教室について、アンケート調査から得られたきめ細かい指導や好評な教室の定員を増やすなど市民ニーズに沿った教室を開催した結果、高い満足度が得られました。</p> <p>《事業満足度》</p> <p>スケート教室89% 古市場小教室:88% なぎなた教室:100% スキー&スノーボード教室:92%</p> <p>【指標3関連】</p> <p>学校の総合的な福祉の時間として、児童・生徒がパラスポーツ指導者から、競技を始めた経緯等を直接聞くとともに、パラスポーツを体験することにより、競技や障害に対する理解を深めたほか、市民向けのポッチャ体験を開催するなど、パラスポーツの普及・啓発に努めました。</p> <p>《令和5年度実績》</p> <p>とどろきアリーナ:宮内中学校 車いすバスケ 254人 ポッチャ 239人 計493人 宮前スポーツセンター:犬蔵中学校 車いすバスケ 199人、ポッチャ 131人 計330人 橋中:ポッチャ 248人 川崎愛児園:ポッチャ 30人 手をつなぐフェスティバル:ポッチャ 280人</p> <p>【その他】</p> <p>かわさき多摩川マラソンにおいては、新たに、車いす専用の部門や未就学児が親子で走ることができるファミリーファンラン部門を創設するなど、広く市民が参加できる大会を開催しました。</p> <p>・募集定員 7,320人 申込数 6,486人 参加者数 5,688人</p>
----------------	--

評価(Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	市民大会等参加者数	目標値		21,000	27,000	30,150	30,150	人
	説明 各加盟団体ごとに開催する市民大会の参加者数	実績値	16,930	26,038	31,706			
2	スポーツ教室参加者満足度	目標値		84	85	86	87	%
	説明 指定管理施設以外で行うスポーツ教室参加者に対し、アンケートを行い、得られた満足度の割合	実績値	96	92	91			
3	パラスポーツ体験教室の参加者数	目標値		855	960	965	975	人
	説明 スポーツ協会が独自で実施しているパラスポーツ体験教室の参加者数	実績値	954	750	1,381			

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	
指標3 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・指標1に関して、新型コロナウイルス感染症が感染症法上、5類になったことも併い、参加者数が増加し、昨年度の実績を上回るとともに、平成30年度の約9割まで回復し、目標を達成することができました。
 ・指標2に関して、昨年度のアンケート内容を参考にスキー&スノーボード教室の回数を増やすなど要望を取り入れたことにより、継続して高水準の評価を得ることができ、目標を達成することができました。
 ・指標3に関して、橋中学校でのポッチャ教室の開催や福祉イベントでの市民向けポッチャ体験会の実施など、新たな取組を進めたことにより、目標を達成することができました。

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A ・指標1については、成果指標である参加者数が目標人数を上回るなど、スポーツの振興につなげた。 ・指標2については、アンケートを行い、得られた満足度が目標値より上回ったため。 ・指標3については、パラスポーツ体験教室の参加者数が目標人数を上回ったため。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値		36,877 (104,251)	36,902 (101,345)	36,902 (101,295)	36,902 (101,296)	千円
	説明 本市財政支出(直接事業費)	実績値		30,162 (84,181)	39,477 (89,338)	48,380 (113,715)		

行政サービスコスト に対する達成度	4)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

市の受託事業の増加(親子で楽しむスポーツフェスタなど)により、想定より委託料が増加した為、市財政支出が目標値の範囲を超えました。今後は、事業支出とのバランスを見ながら新たな取組を実施することで、自己収入を増やすよう努めます。

	費用対効果 <small>(「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)</small>	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2) 指標1・2・3すべてにおいて目標値を上回ったが、行政サービスコストの目標値を超えたため。

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和5(2023)年度)	
事業名	競技選手強化・指導者育成事業
計画(Plan)	
現状	<ul style="list-style-type: none"> 将来的に川崎市出身の選手が各種世界大会等で活躍できるようなトップアスリートの人材育成を行います。 国体や全国大会に川崎市出身の選手が出場できるような選手強化を行います。 川崎市内にスポーツを普及・振興できるよう、選手や指導者の人材育成を行います。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 加盟団体が実施するトップアスリート育成・強化支援事業及びスポーツ普及や指導者育成事業に対して、年間を通して支援を行っていきます。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 加盟団体が実施する選手強化・育成等の事業に対して、市の負担金を活用し、助成金による支援を行うとともに、加盟団体連絡会や研修会を実施し、競技力の向上を図ります。 加盟団体が実施する指導者育成事業に対して、助成金による支援を行うとともに加盟団体連絡会や研修会を実施し、市内のスポーツ普及・振興に繋がります。 加盟団体の研修会等を通じて、事業効果を上げるとともに、指導内容の充実に努めます。

実施結果(Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 国や県の強化指定選手等の指定を目指すトップアスリート育成や全国レベルの選手の競技力向上及びチームの強化を目的とする選手強化支援事業を10団体が実施し、654人が参加しました。</p> <p>内訳 トップアスリート:サッカー 84人、バレーボール15人 選手強化:クレー射撃90人、体操120人、テニス94人、ソフトテニス 30人、ソフトボール33人、卓球37人、サッカー93人、スキー 33人、バスケットボール 25人</p> <p>【指標2関連】 スポーツ協会において、審判を行う上での知識や指導方法、初心者に対する基礎的なルールの説明手法など指導者に必要な講習を開催し、競技団体やスポーツ少年団など7団体が指導者育成事業を実施し、555人が参加しました。</p> <p>内訳 サッカー75人、剣道48人、野球175人、ゲートボール167人、バスケットボール20人、ボウリング30人、スポーツ少年団40人</p> <p>【その他】 各加盟団体の指導者等を対象に、今後のスポーツ指導の参考となるよう、スポーツハラスメントをテーマに具体的な事例の説明や各加盟団体同士の議論を行ったほか競技力の向上を図るため、選手強化支援制度の周知を図る研修会を実施しました。</p>

評価(Check)								
本市施策推進に関する指標	目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
1	トップアスリート育成・強化支援関連事業の参加者数	目標値		440	570	630	650	人
	説明 トップアスリート育成や選手強化事業の参加者数	実績値	402	507	654			
2	指導者育成事業の参加者数(育成数)	目標値		210	415	420	425	人
	説明 指導者育成事業の参加者数	実績値	508	431	555			

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・指標1に関して、各競技団体が積極的に事業を実施したため、昨年度の実績を上回るとともに、平成29年度から令和元年度の平均値(630人)まで回復し、目標を上回ることができました。
 ・指標2に関して、加盟団体連絡会等を通して各競技団体に、指導者育成の実施を働きかけたことで、各競技団体が積極的に事業を実施したため目標値を大幅に上回りました。
 ・その他指導者研修会については、指導力向上につながるよう、大学教授による専門的な講義なども取り入れ、継続して実施いたします。

 本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 指標1に関して、成果指標である「トップアスリート育成・強化支援関連事業の参加者数」について目標値を上回ったため。 指標2に関して、成果指標である「指導者育成事業の参加者数」について目標値を上回ったため。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	3,142 (3,294)	3,117 (3,279)	3,117 (3,279)	3,117 (3,279)	千円
	説明 本市財政支出 (直接事業費)	実績値		1,811 (1,917)	2,693 (2,855)	3,143 (3,329)		

行政サービスコスト に対する達成度	2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

経費を抑えつつ事業を実施したものの、トップアスリート育成・強化支援事業の助成交付団体数増加により、助成金等の経費が増額したため、行政サービスコストは目標値の範囲を超えました。今後も目標値を達成するため、適切な経費の支出に努めるとともに参加者の増加を図るなど効果的な事業実施に努めます。

 本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(1) トップアスリート育成・強化支援事業の助成交付団体数増加により経費が増額したため、行政サービスコストは目標値の範囲を超えたものの、指標1、指標2ともに目標値を上回ったため。

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	トップアスリート育成・強化支援事業については、引き続き加盟団体連絡会等における制度の周知や各競技団体への情報の共有を進め、参加者数を継続して増やしていけるよう各競技団体と事業の重要性を共有し、積極的な事業展開を働きかけます。 指導者育成事業について、適切な指導が行える指導者を増やすことは、競技力の向上や普及促進に繋がることから、現在のニーズにあった指導者向け研修会を継続して開催するなど、指導者の育成に取り組めます。

法人名（団体名）	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組③（令和5（2023）年度）

事業名	施設管理運営事業
計 画（Plan）	
現状	<ul style="list-style-type: none"> 市内施設（とどろきアリーナ、宮前・多摩スポーツセンター、青少年の家）の管理運営を行っています。 各施設にてアンケート調査を行いニーズの把握を行います。 宮前・多摩スポーツセンター及び青少年の家の指定管理期間は、令和3年4月1日から令和8年3月31日、とどろきアリーナは、令和2年4月1日から令和5年3月31日までとなっており、延長されない場合は目標値の変更が生じることとなります。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに沿った施設管理運営を行いながら、アンケート結果をもとに、利用満足度を向上させ、事業参加者の増加を図ります。 参加者からレベルアップした教室の要望があったことから、参加者の能力を踏まえたレベルアップ教室を検討します。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設事業参加者満足度について、高評価が得られていることから、引き続きアンケートを通じて参加者ニーズを的確に把握し、満足度の高い教室を開催します。 パラスポーツ・高齢者スポーツなどスポーツ協会の強みを生かせる教室の企画提案を施設管理者等に行い連携を図りながら、事業参加者の増加を目指します。 参加者のニーズに合わせ、レベルアップした子供のダンス教室が好評であることから継続して実施し、満足度を高めるとともに、参加者の増加を目指します。

実施結果（Do）

本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 協会としての強みを生かし、パラスポーツや高齢者スポーツ教室、幼児から大人まであらゆる世代を対象にした教室を実施しました。 《令和5年度実績》 とどろきアリーナ 3,201人 宮前スポーツセンター 30,351人 多摩スポーツセンター 48人 青少年の家 3,321人
	【指標2関連】 子どものダンス教室の参加者から指導内容のレベルを上げて欲しい旨の要望があり、令和4年度から指導レベルを上げた教室を開催するなど、ニーズに対して柔軟に対応したことにより、高い満足度が得られました。 《令和5年度実績》 アリーナ 95% 青少年の家 95% 多摩スポーツセンター 93%
	【その他】 等々力緑地再編整備に伴い指定管理者と協議を行い、講師派遣や教室の運営を実施いたしました。

評価（Check）

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	施設事業参加者数	目標値	32,500	13,380	38,100	40,900	43,710	人
	説明 管理運営をしている施設でスポーツ協会が実施する事業への参加者数	実績値		26,004	36,921			
2	施設事業参加者満足度	目標値	95	92	92	93	93	%
	説明 管理運営をしている施設でスポーツ協会が実施する事業への参加者に対し、アンケートを行い、得られた満足度の割合	実績値		92	94			

指標1 に対する達成度	b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・指標1に関して、パラスポーツや高齢者、子ども向けの教室等スポーツ協会ならではのノウハウや経験を活かした教室を開催しました。また、コロナ禍の影響がほぼなくなり、スポーツをする環境が整ったことから、近隣の町内会等にチラシを配布するなど広報活動を行い、目標値を達成することはできませんでしたが、参加者数は増加しました。
・指標2に関して、参加者アンケートから得られたニーズに沿った教室を開催したことから、目標値を達成することができました。

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	B 指標1に関して、成果指標である「施設事業参加者数」について目標値を達成できなかったものの、現状値を上回ったため。 指標2に関して、成果指標である「施設事業参加者満足度」について目標値を上回ったため。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値		42,483 (53,700)	30,291 (44,850)	30,042 (44,851)	29,793 (44,799)	千円
	説明 本市財政支出(直接事業費)	実績値		42,903 (57,537)	42,064 (56,554)	29,698 (46,838)		

行政サービスコスト
に対する達成度

1)

- 1). 実績値が目標値の100%未満
- 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満
- 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満
- 4). 実績値が目標値の120%以上

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

本市財政支出について、効率的な施設運営等及び適切な財政支出に努め、目標値の範囲内となりました。

	費用対効果 <small>(「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)</small>	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2) 指標1については目標値を下回ったものの現状値を上回り、指標2については目標値を上回り、かつ、行政サービスコストについては、目標値の範囲内であったため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名（団体名）	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

2. 経営健全化に向けた取組①（令和5（2023）年度）

項目名	収益性の確保
計画（Plan）	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・事業毎の管理を行うことにより、赤字事業の縮小・廃止に随時取り組みながら、経費削減・収入の確保をし、効率の良い事業運営を行う必要があります。 ・財務の安定性の確保を目的に、正味財産の推移を把握しています。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、黒字となる自主事業等の継続・拡大とともに、赤字事業の縮小・廃止にも取り組みます。また、効率の良い事業運営を行いながら経営基盤を強化し、健全かつ安定的な事業運営に努めます。 ・収益率を改善し、正味財産増減額の推移とともに経営改善の指標としながら事業運営に努めます。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業ごとに予算管理・執行中の経費管理を行い、経費削減及び収入の増加が図られるよう随時事業管理を行い、正味財産の増加及び経常収支改善に努めます。 ・かわさき多摩川マラソンでは、PR動画の放映など広報活動することにより、事業の参加者を増やすとともに、新規事業の企画の検討を行います。 ・好評な事業の拡充や、事業の採算性を考慮した適正な料金の設定を検討いたします。

実施結果（Do）

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1・2関連】</p> <p>事業計画で予定していた事業は、おおよそ実施することができ、また、新たなスポーツ事業を受託し、一部の事業の料金を適正な価格とする（スキー&スノーボード教室）など収益の確保に努めました。また、かわさき多摩川マラソンの申込人数が定員の約9割弱に達するなど収益が増加しましたが、実施に係る委託料等の値上げなどの影響により、経常費用が経常収益を上回りました。</p> <p>【その他】</p> <p>事業ごとに予算・経費管理等を行い、収入増を図りながら事業を行い、正味財産の増加並びに収支比率の改善に努めました。経常費用が経常収益を上回ったことから、更なる収入の増加及び支出の縮減に向けた取組が急務となっています。</p>
---------------	--

評価（Check）

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	正味財産の推移	目標値		166,173	166,273	166,423	166,623	千円
	説明 出捐者から受け入れた指定正味財産額、本業から得られた過年度経常収支差額の合計額	実績値	162,920	160,725	157,920			
2	経常収支比率の推移	目標値		100	100	100	100	%
	説明 事業活動の結果である経常収益と、それに費やした経常費用の割合	実績値	97.8	98.6	98.4			

指標1 に対する達成度	c	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	b	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

かわさき多摩川マラソンの申込数の増加や新たな受託(スポーツフェスタ)やスノーヴァの教室回数増加により収入が増加しましたが、令和4年度まで実施していた富士見公園運動施設管理の終了、とどろきアリーナで実施していた教室の縮小、物価高等による事業実施に係る経費の増加などの影響で、経常費用が経常収益を上回ったことにより、正味財産は減少し経常収支比率も目標値より下回りました。

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C 収益向上のため、新たにスポーツフェスタの受託やPR動画の放映など積極的に広報活動を行い、かわさき多摩川マラソン参加者数の増加に取り組んだが、指標2について現状値を超えているものの、指標1は目標値を下回ったため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II 市制100周年に向けたかわさき多摩川マラソンについて新たな企画を行い、更なる申込者数の増加を図ります。教室等の事業実施においては、収益性の確保に向け採算性を考慮した料金の見直しなど、収支の改善を図ります。また、事業ごとの分担など勤務体制の見直しや効率的な事業執行に取り組めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

経営健全化に向けた取組②(令和5(2023)年度)

項目名	自立性の向上
計 画 (Plan)	
現状	指定管理料を除く管理運営収益及び事業参加料収益等の自主事業を拡充し、市財政支出額を除いた主要な経常収益を確保し自立性の向上を図ります。また、賛助会費や協賛金その他の新たな収入の確保の取組を進めて、市財政支出の依存度を低減し、自立的な事業運営を行う必要があります。
行動計画	市民のニーズを把握しながら、指定管理料を除いた、事業参加料収益の増加や管理運営収益の拡充を行い、市財政支出額を除く主要な経常収益の確保を図ります。また協賛金収入の確保や新規事業への模索を行いながら健全な事業運営に努めます。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業参加者数・参加料収入の増加に向けてホームページや広報誌、チラシ等による積極的な広報を行います。 ・新規の寄付・協賛金の確保、新たな事業の検討及び既存事業の拡充、他事業者の参加料との比較を踏まえ参加料収入増の検討を行い、主要な経常収益の増加を図り自主性を高めます。 ・事業ごとに収入の確保及び経費節減を図りながら、随時事業管理を行います。

実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 かわさき多摩川マラソンの申込者増、トランポリンジャンプオープン参加者の増、青少年の家教室の参加者増などの増加により、事業参加料収入が増加いたしました。</p> <p>協賛・寄付企業等の減少に伴い、新規開拓を行い、2社から協力を得ることができました。</p> <p>【その他】 ウィンタースポーツに触れられる機会を増やすため民間企業と連携したスキー＆スノーボード教室のコースや回数を増やすなど規模を拡大するとともに、料金設定を見直し収益向上に取り組みました。</p>
---------------	---

評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	市財政支出額を除く主要な経常収益	目標値		65,804	66,426	66,875	67,324	千円
	説明 主要な経常収益である管理運営収益及び事業参加料収益から指定管理料を控除した額	実績値	57,406	55,623	70,077			
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
かわさき多摩川マラソン申込者数の増加、スキー＆スノーボード教室の回数増などにより、事業参加料収入が増加し、目標を達成することができました。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A かわさき多摩川マラソンの申込者数の増加、スキー＆スノーボード教室の回数増などにより、事業参加料収入が増加し、目標値を上回ったため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止	Ⅰ

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

3. 業務・組織に関する取組①(令和5(2023)年度)

項目名	適正な業務運営・法人組織体制の構築
計画(Plan)	
現状	公益法人として、組織等の整備を随時進め、適正な公益法人としての活動を行っています。また、コンプライアンスについて、随時役員・職員を集め研修を行っています。
行動計画	今後も定期的に経営会議を開催し、施設運営管理状況の把握と、協会全体の経営計画の策定及び評価を行い改善していきます。また、随時役員・職員等を対象にコンプライアンスについて研修を行い健全な組織構築を行います。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 役員会議等を適時開催し、協会全体の事業及び経営状況の現状把握を行い、事業運営の検討・改善に取り組みます。 事務局会議(12回)、市民スポーツ室との定例会(12回)を開催し、事業の進捗状況の確認及び情報の共有化により適正な業務運営・事業執行における協力体制を確立します。 協会の職員を対象にコンプライアンスやハラスメントについて研修会を実施し、役員・加盟団体の責任者に対しても、役員会・加盟団体連絡会等を通じて認識を深め、適正な業務運営に取り組みます。

実施結果(Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <p>役員会を3回開催し、適正な業務運営に向け、財務状況や事業進捗などを把握しました。事務局会議において各担当の事業進捗などを確認し、かわさき多摩川マラソン等大規模な事業に取り組むにあたっての協力体制などを確認しました。市民スポーツ室との定例会を12回開催し、事業の進捗確認や情報共有を図るとともに、適正な業務運営に向けた協議・検討を行いました。協会職員や各加盟団体役員に対し、スポーツハラスメント研修を実施するなど、適正な業務運営に取り組みました。</p>
---------------	--

評価(Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	定期的な運営会議等の開催数	目標値		24	24	24	24	回
	説明 公益財団法人としての組織整備並びに健全な組織の構築に向けた重要な指標 ※R4～7年度の個別設定値:23(現状値の95%)	実績値	24	24	24			
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
事務局会議、市民スポーツ室との定例会をそれぞれ毎月(12回)開催し、目標値を達成しました。今後も引き続き、市民スポーツの普及・振興に取り組むとともに健全な公益財団法人としての活動に資するよう効果的に会議、研修等を開催していきます。								

本市による評価

達成状況

区分

区分選択の理由

- A. 目標を達成した
- B. ほぼ目標を達成した
- C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
- D. 現状を下回るものが多くあった
- E. 現状を大幅に下回った

A

成果指標である「定期的な運営会議等の開催数」について、目標値を達成しており、さらに多摩川マラソンに特化した会議を随時開催するなど、市との情報共有を密にし、適正な業務運営に取り組んでいるため。

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

業務・組織に関する取組②(令和5(2023)年度)

項目名	人材育成等の研修計画
-----	------------

計 画 (Plan)

現状	公益に資する活動をしているか、公益目的事業を行う能力・体制があるかなど、公益法人が満たさなければならない基準が厳格化されており、経理的基礎・技術的能力が必要となっています。労務・経理やその他事業に関連する研修や資格の取得を随時行います。
行動計画	職員の資質向上のため、意識改革と知識の習得・技術の向上を図る研修会等への参加による人材育成を行います。また、労務・経理等の法人にかかわる研修やその他事業に関連する研修・資格の取得を随時行っていきます。
具体的な取組内容	・公益財団法人として適切に運営する知識の向上、スポーツ施策の適切な助言・指導を担う人材の育成、スポーツの専門性及び事務・経理処理知識などの向上等を図るため、研修や研究会に参加するとともに、資格の取得を目指します。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】 Zoomも活用しながら積極的に研修を受講しました。(内訳: 労務1人、財務会計システム1人、スポーツ施設管理1人、赤十字社救命法12人、バラスポーツ1人、ポッチャステップアップ2人、スポーツハラスメント3人、IT導入関係1人、子どもに元気を与えるトーク法1人 計23人)</p> <p>【指標2関連】 公認スポーツ施設運営管理士、公認バラスポーツ指導員、赤十字社が実施する救命士などの資格を14件取得しました。</p>
---------------	--

評 価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	年間研修参加者数	目標値	/	16	17	18	28	人
	説明 資質の向上等を図るための研修会参加者数	実績値		25	19	23		
2	資格取得件数	目標値	/	5	5	5	14	件
	説明 資質の向上等を図るための資格取得数	実績値		12	8	14		
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

研修に関しては経営に生かせるよう、インボイス制度にあわせた財務会計システムや施設管理に関する知識などの習得に努めるとともに、昨今、問題になっているハラスメント対策や救急救命関係の講習を受講しました。資格に関してはスポーツ教室の実施にあたり必要な運営・管理や基本的な知識を習得し、関連する資格の取得に努めました。

<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">➔</div>	本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	A	法人運営に必要な知識の向上やスポーツ施策の適切な助言・指導を担える人材の育成に取り組み、指標1及び指標2について、目標値を上回ったため。

改 善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
---------	-----------------	-----	--------------

●法人情報

(1) 財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)					
	経常収益	147,241	153,698	167,416		
	経常費用(事業費)	136,305	140,883	154,756		
	経常費用(管理費)	14,178	14,860	15,465		
	うち減価償却費	864	1,032	1,305		
	当期経常増減額	△3,241	△2,045	△2,805		
	経常外収益					
	経常外費用		150			
	税引前当期一般正味財産増減額	△3,241	△2,195	△2,805		
	当期一般正味財産増減額	△3,241	△2,195	△2,805		
(指定正味財産増減の部)						
当期指定正味財産増減額						
正味財産期末残高	162,920	160,725	157,920			
貸借対照表	総資産	186,357	175,296	170,792		
	流動資産	25,027	22,209	35,636		
	固定資産	161,330	153,087	135,156		
	総負債	23,437	14,571	12,871		
	流動負債	22,075	11,411	8,917		
	固定負債	1,362	3,159	3,955		
正味財産	162,920	160,725	157,920			
指定正味財産	109,850	109,850	109,850			
一般正味財産	53,070	50,875	48,070			
主たる勘定科目の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
経常収益	管理運営収益+事業参加料収益	88,539	85,917	99,776		
経常費用	委託費(事業費+管理費)	42,402	42,162	54,103		
総資産	特定資産	49,032	39,032	19,325		
総負債	有利子負債(借入金+社債等)	2,149	4,055	5,235		
本市の財政支出等(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金		15,194	14,322	14,322		
負担金		12,628	20,924	26,622		
委託料		21,621	22,196	16,010		
指定管理料		31,133	30,295	29,699		
貸付金(年度末残高)						
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)						
出捐金(年度末状況)		45,000	45,000	45,000		
(市出捐率)		40.9%	40.9%	40.9%		
財務に関する指標		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		113.4%	194.6%	399.7%		
有利子負債比率(有利子負債/正味財産)		1.3%	2.5%	3.3%		
経常収支比率(経常収益/経常費用)		97.8%	98.6%	98.4%		
正味財産比率(正味財産/総資産)		87.4%	91.7%	92.5%		
経常費用に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常費用		53.5%	56.3%	50.9%		
経常収益に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常収益		54.7%	57.1%	51.8%		

法人コメント		本市コメント	
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど	
<p>新型コロナウイルスが5類感染症となり、その影響も落ち着き、概ね事業計画どおり実施することができました。</p> <p>また、新たな収益を確保するため、スポーツフェスタ事業を受託するとともに、かわさき多摩川マラソン申込者数の増加、教室事業の参加者の増員や参加料の改定など収益の確保に努め、経常収益は昨年度より増加し167,416千円となりました。</p> <p>一方で、昨今の物価高騰により、事業実施に係る委託料等の経費支出が増加するなどの要因もあり、経常費用も昨年度から増加し170,221千円となり、当期経常増減額は△2,805千円となりました。</p>	<p>新たな収益を確保するため、市の受託事業の獲得に引き続き取り組むとともに、各種教室事業について、満足度を高め、参加員数を増やすことで参加者を増加させてまいります。また、市制100周年記念事業である、かわさき多摩川マラソンの内容充実とともにPR等を強化し、参加者の増加に取り組み、収益増を図ります。</p> <p>今後につきましても、各スポーツセンターなど施設の指定管理業務やスポーツ関係委託事業への参画に向けて、関係企業・団体などと情報共有をしつつ、新たな事業を受託できるよう、準備を進めてまいります。また、執行体制の見直しなど支出の削減に取り組みます。これらの取組により黒字化への転換を図ってまいります。</p>	<p>本法人は、市内の種別競技団体を統括し、共に本市スポーツ施策を実現する協働のパートナーとして非常に大きな役割を担っており、本法人が市と適切に情報を共有し、多様化する市民ニーズを的確に捉えながら、より一層のスポーツ活動の普及・振興に向けて継続して取り組んでいく必要があります。</p> <p>そのためにも、経営の健全化に向けて、引き続きスポーツ事業及び施設管理運営の収益性を高め、自己収入の増加に努めるとともに、事業コストや人件費の削減を図ることで経営基盤を強化し、より安定した事業実施体制を構築することを期待します。</p>	

(2) 役員・職員の状況(令和6年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	1	0	1	11	0	1
職員	4	0	0	7	0	4

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解
・理由

・今後の方向性